



藤原 孟 議員  
(副議長)

**問 高木姉妹の活躍と感動を永遠に**

**答 日本オリンピックピク史上でも特筆すべき偉業であり、特に表彰の内容は熟考したい**

**問** 百花繚乱・忘れない・最高の感動をありがとう。第23回冬季五輪平昌(ピョンチャン)大会で、高木菜那・美帆姉妹は、2人合わせて5個のメダルを獲得され、町出身者として初めてのメダリストとなった。日本中を興奮の渦に巻き込み、多くの人々に勇気と感動を与えてくれた。これまで8人のオリンピックを輩出している幕別町は、自然や施設などスポーツに適した環境があり、さらには、穀物大国十勝の豆類、ジャガイモなど恵まれた食糧が強靱な体力の大地になつているので、とも言われている。町では、次世代の五輪出場を目指す子どもにも夢を抱かせる取組をすべきと考え、次の点について伺う。

- (1) 特別表彰やパレードの内容は。
- (2) 体育施設に高木姉妹やオリンピックの名前を付け、この地でオリンピックが育つたことを示すことが必要と考えるが。
- (3) 「アスリートと創るオリンピックの町創生事業」に取り組もうと

しているが、オリンピックの名を付けた運動施設と、幕別の食を結び付けた体験型観光に取り組むことも必要と考えるが、見解は。

**町長(1)** 具体的な内容について、申し上げる段階にはないが、表彰やパレード、報告会などが考えられる。お二人に対して、それぞれ冬季オリンピック競技大会に初出場された際、その栄誉をたたえて町民栄誉賞を贈呈しているが、今大会における成績は日本のオリンピック史上でも特筆すべき偉業であり、特に表彰の内容については、熟考しなければならない。

- (2) 顕著な活躍をされた方にちなんで、建設した施設にその方の名前を付けるというのが自然な形であると考えられることから、今後そのような機会と機運の盛り上がりがあれば、当然検討しなければならないものと認識している。
- (3) 新年度から、スポーツ合宿等を通してスポーツ交流人口を増やす取組や、地場農畜産物を活用した

食事・健康・スポーツを組み合わせたプログラムを提供することにより、地域に根ざしたスポーツコミュニティを確立し、さらなる未来のオリンピック選手を育てる事業を計画している。運動施設と幕別の食を結びつけた体験型観光への取組は、運動施設として、山本幸平選手が監修した明野ヶ丘公園のマウンテンバイクコースや幕別運動公園内の各種体育施設、町内二つのスキー場、さらには、南十勝夢街道やトカプチ雄大空間のサイクリングコースなどがある。しかし、本町の体育施設は、観光の素材として人を呼び込むため、その施設や設備自体に、獨創性や特殊性、訪れた人に満足感を与えられるようなことを想定して整備したものはなく、体験型の観光素材として構築することは難しい。まずは、オリンピックアスリートを生んだまち「幕別町」を知ってもらう土壌はできてきたところであり、パークゴルフをはじめ、温泉施設などの既存施設と、農産物の

収穫体験や酪農体験などの観光素材をつなぎ合わせた周遊プランを創出するなど、まちの魅力を盛り込んだ情報を広く発信し、交流人口の増加に努めたい。

**再質問** 連日、テレビ・ラジオ・新聞等で「北海道幕別町」の名が報道され、幕別町が全国に知られるきっかけとなった、高木菜那・美帆姉妹のメダリストに対して、功績と感動を与えてくれた感謝を表して報奨金を贈る考えは。

**答** 栄誉をたたえるということとは、一番大切なのは、たくさんの方の感謝をいただいたこと。幕別町を全国区にしていただいた、そのお礼をすることにあると思っている。報奨金の金額については、熟考しなければならない。



※4月6日開催の臨時会において、幕別町特別町民栄誉賞の贈呈と、お二人それぞれに100万円の報奨金、特産品を贈呈することなどが決まりました。